

[標準様式例 4-3 ]

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	東北管内における浚渫土砂有効活用検討業務
業務概要	本業務は、2024年4月から自動車運転の業務に適用された改正労働基準法の労働時間の上限規制を踏まえ、東北地方におけるコンテナ貨物流動の詳細を把握し、将来動向の推計や東北港湾における国際フィーダー利用拡大に向けた施策等の検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長 渡邊 茂 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
契約年月日	令和6年10月11日
契約業者名	一般社団法人水底質浄化技術協会
契約業者の住所	東京都中央区入船三丁目10番9号
契約金額	14,300,000 円(税込)
予定期価格	14,366,000 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間(自)	令和6年10月11日
履行期間(至)	令和7年2月28日
備考	

### 備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

## 隨意契約理由書

1. 業務の名称 東北管内における浚渫土砂有効活用検討業務

2. 契約業者名 一般社団法人水底質浄化技術協会

3. 隨意契約理由

本業務は、東北管内の航路・泊地の埋没浚渫により発生する土砂の処分について、受入先に容量不足の課題があることから、課題の解消に向けて、八戸港、能代港、秋田港、酒田港の浚渫土砂を対象に、浚渫土砂に改質材を混合した建設資材を活用し藻場造成に利用した場合の検討を行うものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、一般社団法人水底質浄化技術協会を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項に基づき、一般社団法人水底質浄化技術協会と随意契約を行うものである。